

八王子市議会レポート

No.78 2018年4月23日

## つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派  
厚生委員会所属

北野台在住



発行：生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

4期目 スタート!

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>

## 2018年度予算に反対しました。

◆反対理由：①国保税の広域化（東京都で一元管理）で、3年連続2年おきのアップとなりました。国保の加入者は高齢者が多く、また、加入者所得も健保組合や共済組合よりも低くなっています。にもかかわらず、扶養家族という概念がなく、赤ちゃんでも、均等割りという人頭税を支払わなければなりません。制度の不公平を少しでもたすために、多子軽減措置の導入を求めたのですが、受け入れられませんでした。そのようなことから、国保税の値上げに反対です。

②マルベリーブリッジの西側延伸工事が具体的に始まります。予算は約18億円。どのような費用対効果があるのか、十分な説明がなされていません。東側延伸工事の時も、無駄な工事として、13億円も支出しました。賑わいを創出したというのですが、ただ、下を歩いていた人が、上のブリッジを通っているだけのことで、商業施設から見れば、入口付近を多くの人が歩く方が、賑わいになることは間違いありません。また、西側延伸の場合、下が地下駐車場でもあることから、工事に不安が残ります。③川口区画整理事業が本格化スタートです。市の持ち出しは、約43億円。この事業、まさに、やりたい人だけで進めているものともいえ、市民への、しかも近隣住民への説明もなされていません。昨年12月、住民への説明を求める請願が出されたのですが、否決されてしまいました。そんな状態で、市から私たちの大切な税金を43億円も（これだって、さらに膨らむ可能性があるし、根拠の検討もなされていません）支出することは許されません。

◆これからの議論の課題：昨年の台風21号による被害で、加住小学校の給食施設が壊れました。そんな中、突然、給食センターを6カ所余り建設し、中学校給食を全校でスタートさせるという市長発表があり、今年度予算にも、給食センター2カ所分の予算が計上されました。反対するものではないのですが、親子方式による中学校給食が進まなかった理由や、給食センター以外との整備との比較検討など、もっと議論が必要です。少しでも、費用を押さえ、より安全でおいしい給食を提供することを考える必要があります。合わせて、給食無償化の働きかけも行っていきたいです。



市議会議員4期目。  
厚生委員会に長らく所属し、介護問題、障がい者問題などについて、多く発言してきた。  
女性の人権擁護、男女平等、市民活動などにも関わる。現在、次世代高齢者対策特別委員会の委員長。総務企画委員会

◇議会報告会 4月25日(金)10時より 北野市民センター8F

## 陣内 やすこの活動日誌から ★★★

## ◆4月1日：ヨウ素剤配布会に参加

「DAYS JAPAN」主催の広河隆一さん、小児科の山田 真先生などの呼びかけで、放射性ヨウ素剤の配布会を実施しました。午前午後 50 人ずつ 100 世帯が、小さなお子さんづれなどで来館されました。

二度とおこってほしくない原発爆発。放射能の暴露から身を少しでも守るために、常時ヨウ素剤を持ち歩くことをすすめています。虎視眈々と再稼働を画策する政府に対し、この狭い国内に 54 基もの原発がある恐ろしさと市民の不安を突き付けていきましょう。



## ◆女性議員を増やそう in NARA (4月7日)：女性議員を増やそうという動きがこのところ、活発になってきました。

「政治分野における男女共同参画推進条例」の制定が、今国会で、成立するか瀬戸際です。奈良県は、女性議員ゼロ議会が 41% もあります。地元男女共同参画課の協力もあり、イベントを橿原市で実施。近隣都市からも参加者があり、来年の地方統一地方選をにらんでの準備が始まることを期待します。



## ◆東京でも、「選挙制度を変えれば暮らしが変わる ♪モノトーン

議会からオーケストラ議会へ♪♪」がありました。(4月20日)

世界一高い供託金、小選挙区制度など、選挙制度の改革が必要です。ノルウェー、ニュージーランドは、クオータ制ではないけど、男女交互の比例名簿が社会に根づいています。女性議員比率は、40%を下らない。韓国は、クオータ制度の法整備が整い、女性議員が増えています。日本は小選挙区制が壁になっています。

## ◆いま、韓国があつい。

韓国では、キャンドル革命でパク・クネ元大統領を弾劾罷免したのですが、それだけではなく、非正規を正規職員にする、生活保障賃金を確保するなど、さまざまな取り組みがソウル市を中心に行われています。最近、お話を聞き、読んだ本は、『ソウルの市民民主主義—日本を変えるために』。とても刺激的です。市民の力をしっかりと形にする仕組みが出来ています。女性議員増を支えるクオータ制しかり。近くて遠い国といわれている韓国ですが、社会文化の類似点も多く、もっと学ぶ必要があります。

## ◆食品ロスをなくす取り組み—工場見学

まなぶつなぐ広場の呼びかけで、日本フードエコロジーセンターの見学に行ってきました。食品工場などからでる調理前食品残渣を回収し、豚の飼料をつくっているのです。32名ほどの職員が、365日休みなしに交代で仕事をしています。特に、食品に交じっているプラスチックや紙類など異物を取り除く作業は手作業で大変な作業です。サンドイッチなど、調理されたけれど売れ残ったものなども運びこまれているのですが、コンビニの弁当廃棄は、さまざまなプラスチック類が混在しているので、受け入れられないとのこと。産業廃棄物の可燃物処理費は、八王子市の場合、キロ 35 円。焼却してしまった方が、安いという事から、なかなかリサイクルに回らないのですが、日本ほど、ごみの焼却場が多いところはないとも聞いています。ごみ処理はただではないこと、出来るだけ手元の分別とごみに出さない努力がさらに一層求められていると感じて、帰ってきました。



編集後記：4月20日、10名の市議会議員連盟で、オスプレイの横田基地配備反対の要請書を市長に提出してきました。23日は、#Me Too運動として、セクハラ抗議の院内集会でした。大勢の人が抗議の声をあげました。セクハラ二次被害が起こるのは、被害者に責任転嫁するため(や)